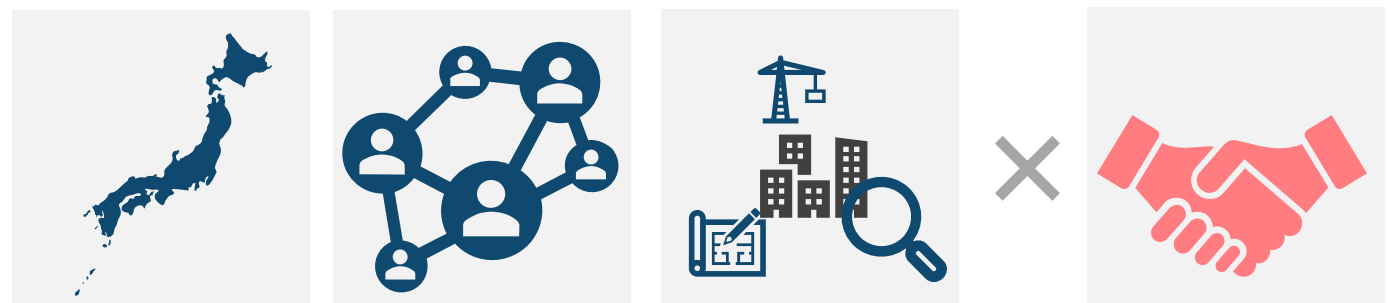


JICA'S SUPPORT

JICAの取組み方針：「信頼」に基づく「共創」によるスマートシティへの協力

JICAは長年の開発協力を通じて築かれた相互の信頼に基づき、産官学民の多様なパートナーの知見を集集し、スマートシティアプローチを実践していきます。



日本・世界の技術・経験に基づく知見 × 国内外における産官学民にわたる多様なネットワーク × 都市開発・都市マネジメントにおけるノウハウ × 開発協力によって醸成された相互の信頼 (Trust)

具体的な協力内容

JICAは以下に示すような協力内容によって、スマートシティアプローチを支援していきます。

	国レベル	都市・自治体/地区レベル
調査 Assessment	情報収集確認調査：現状や将来計画、ニーズの把握と実現に向けたロードマップの策定 ・対象国の上位計画、都市のビジョンや戦略・開発計画、及びスマートシティに係る都市政策体系、制度、組織等、インフラや都市サービスの現状課題、将来計画等に関する網羅的な分析と評価 ・スマートシティの取組みを進めるためのロードマップの策定	M/P策定調査、技術支援：SC組織への支援・専門家派遣 ・SCを取入れた都市空間整備計画、DXの策定支援、人材育成支援 ・SCに係るインフラ（含むICT、都市OS等）整備計画の策定支援
政策 Policy	M/P策定調査、技術支援：SC組織への支援・専門家派遣 ・スマートシティやDXに係るビジョンや戦略の策定支援 ・国のスマートシティ投資戦略（ビジネスモデル）の構築支援	M/P策定調査、技術支援：SC組織への支援・専門家派遣 ・SCを取入れた都市空間整備計画、DXの策定支援、人材育成支援 ・SCに係るインフラ（含むICT、都市OS等）整備計画の策定支援
組織 Organization	技術支援：SC組織への支援・専門家派遣 ・SC推進組織（統括組織、省庁横断組織）の設立支援 ・デジタル技術・情報通信関係機関への人材育成支援 ・産官学連携の組織体制構築支援、人材育成	技術支援：SC組織への支援・専門家派遣 ・自治体や事業のSC推進組織（協議体、統括組織）の設立支援、人材育成支援 ・サービス（技術）等の調達支援（TOR作成、技術評価、契約等）
システム System	技術支援：制度・体制の運用への支援・専門家派遣 ・SCに係る制度枠組み（評価体系、インセンティブ、規制緩和）の構築支援 ・エコシステム（資金調達制度含む）の構築支援	技術支援：制度・体制の運用への支援・専門家派遣 ・SCに係る自治体における制度枠組み（評価体系、実証事業スキーム）の構築 ・事業計画、事業スキームの策定支援
技術 Technology	技術支援：制度・体制の運用への支援・専門家派遣 ・データ利活用方策の策定、個人情報保護ガイドライン策定支援 ・サイバーセキュリティ対策支援 ・国レベルの取組み（E-Government関連等）の実施支援	資金協力/中小・SDGs実証事業・インフラ支援・実証事業の実施 ・データプラットフォーム、都市OSの構築支援 ・スマートシティ導入技術の調達支援、テストベッド構築支援 ・インフラ整備、スマートサービスの実証への支援
運用 Operation	技術支援：ナレッジシェアのプラットフォーム構築 ・各関係主体間での知見・教訓の共有、連携強化 ・制度、組織、仕組みの修正と改善 ・他の都市等を含む広域的な関係性の構築・強化（他都市への展開）	

※ M/P：マスタープラン SC：スマートシティ

本資料は、「全世界スマートシティアプローチの適用性に係る情報収集・確認調査」の内容に基づいて作成されたものです。報告書はJICA図書館ポータルサイトにご覧いただけます。(https://www.jica.go.jp/english/about/organization/library/index.html)



〒102-8012
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
TEL:03-5226-6660~6663 (代表)
Eメール:imgge@jica.go.jp

独立行政法人国際協力機構(JICA/ジャイカ)は、日本の政府開発援助のうち、二国間援助の実施を一元的に担う国際協力機関です。世界の約150か国・地域へ協力しています。
(注)JICA/ジャイカは Japan International Cooperation Agencyの略称です。

詳細はこちらのページをご覧ください
www.jica.go.jp/activities



SMART CITY APPROACH TOWARDS SUSTAINABLE URBAN MANAGEMENT

新興国都市がスマートシティに変革するためのアプローチ



JICA'S MIND

急激な都市化が進む途上国都市においては、未成熟なインフラサービス、経済格差、健康、教育、安全、財政的制約等数多くの課題を抱えながら急速な都市化の進展に対応していかなければなりません。これらの課題に対応しつつ、持続可能な都市を構築し、包摂的な経済成長、社会的・文化的発展、環境共生を実現していくためには、都市を賢くマネジメントしていく必要があります。

近年注目を集めている情報技術やデータを積極的に活用したスマートシティの取組みは、リープワグ的な進化も含め、都市マネジメントや市民参画、および都市ガバナンスのあり様を変容させる可能性を持っています。一方、その活用にあたっては、住民が望まない変容ではなく、データの安全性や信頼性が担保されたものでなくてはなりません。従来手法では届かなかったサービスがすべての市民に行き届くようにする、行政、産業界、住民など多様なステークホルダーの共創により新たなソリューションを提供する、市民と行政の双方向のコミュニケーションを促進する等、多様なステークホルダー間の「信頼」を育みながら都市マネジメントの改善を通して課題解決や価値創造を実現していく、JICAはその取組み：スマートシティに対する支援を行っていきます。



WHERE IS YOUR POSITION

それぞれの都市固有の特徴や課題に応じた発展の方向性

各国・都市の状況は様々です。都市の経済状況や規模、性格等に基づく都市の将来像を見据え、様々な主体や人々とビジョンを共有しながら、課題解決に向けた取組みを特定し、実施していくことが重要です。また、取組み内容も実施主体（国、地方自治体、民間など）によって大きく異なるため、それに即したアプローチを検討することが重要です。

Action!

スマートシティへの取組みの段階に応じたアプローチ

各国・都市固有の条件等を踏まえ、「政策」「組織」「システム」「技術」「運用」の5つの分野の取組み状況をアセスメントした上で、その都市の成熟段階に応じて最適な取組みを実施していきます。新たに取組みを始める都市にも、適した協力プログラムを用意します。

Sustainable Growth

取組みを進展させていく国・都市
領域横断で包括的な取組みを推進していく
望ましい都市マネジメントを実現する

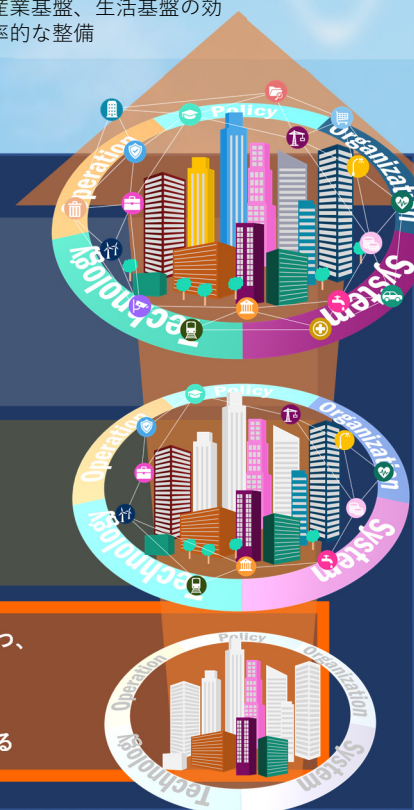
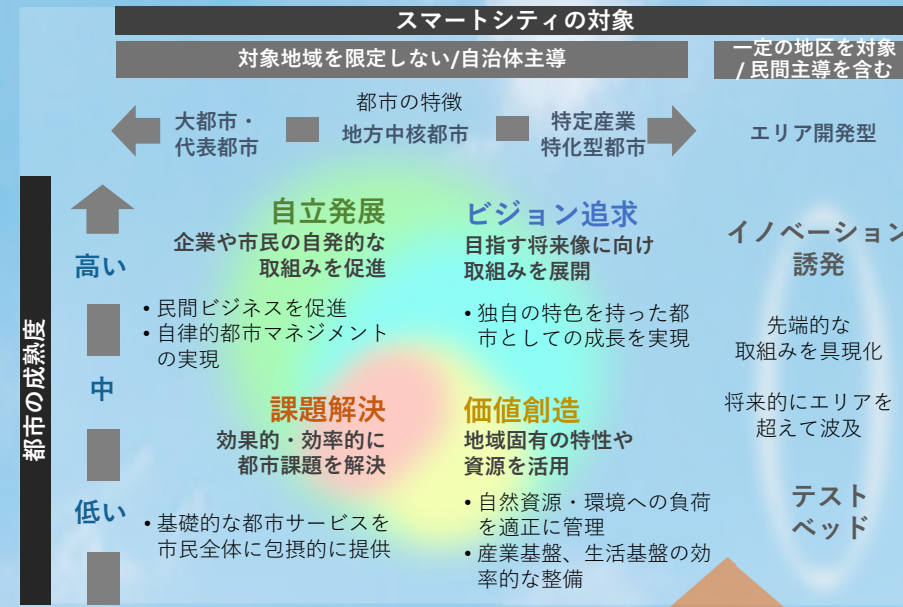
Accelerate

取組みを進めようとしている国・都市
注力するエリア・分野を特定して強化していく
弾力的に資金、技術などを投入

Small Start

新たに取組みを始める国・都市
既存のアセットを最大限活用しつつ、できることから始める
小さな成功を重ね（Quick Win）スマートシティの足掛かりをつくる

都市の性格に応じたスマートシティの方向性



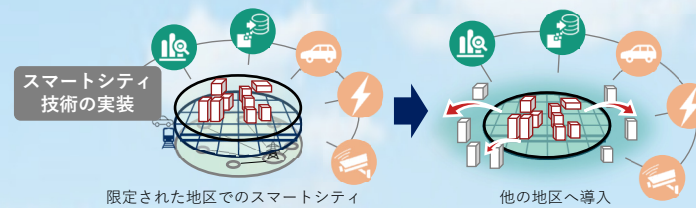
HOW TO SCALE-UP

スマートシティの2つの広げ方

スマートシティを広げる方法としては、エリアを軸にする切り口、およびセクターを軸にする切り口があり、これらを組合せることも可能です。

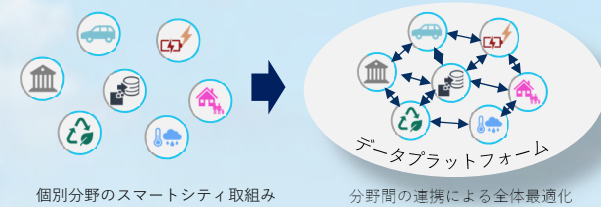
AREA-BASED APPROACH TYPE

点から面へ
特定のエリアで先行的にスマートシティの取組みを実現し、そこで得られた知見を広範囲に広げていく方法。



SECTOR-BASED APPROACH TYPE

特定のセクターから多様なセクターへ
特定のセクター（例えば交通セクター）での取組みを先行し、そこから多様なセクターでの取組みに広げていく方法。



WHAT ARE SMART CITY ELEMENTS

スマートシティエレメントを取組みのレファレンスとして活用
スマートシティの取組みとして、5つの分野・21のエレメントに照らして、事業や取組みと並行してマネジメントを実施する体制や変革を受容できる社会を構築していくことが重要です。

政策 Policy	01	理念・ビジョンの設定	国家戦略・都市計画と連携した理念、ビジョンが設定され、都市の新たな価値創出と市民のWell-being向上、持続的発展のアプローチとして位置付けられている
	02	ビジョン・政策の包括性	スマートシティのビジョンが包括的な取組みとして位置付けられており、様々な領域への波及や新しい価値創出の可能性にも触れられている
	03	ビジョン・政策の具体性	スマートシティを構築する明確なメッセージ、目的・方向性、数値目標などが提示されている
	04	政策の整合性	スマート化の領域が明確であり、既存の都市計画やデジタル戦略との整合性が図られている（スマートシティと都市計画/デジタル戦略が分離していない）
組織 Organization	05	ビジョン・政策の持続性	ビジネスケースが検討され、投資戦略が検討、ビジネスモデルが部分的にでも構築されている（成功モデルとなっていなくても良い）
	06	ビジョン・コンセプトの共有・PR	関係する各主体がスマートシティの理念・ビジョン・価値観を共有している、市民に対するPRが行われている
	07	推進主体	スマートシティ戦略・政策の実装において中心的・主導的な役割を担う、組織・組織体制が形成されている
	08	産官学民連携	スマートシティエコシステムに産官学のトリプルヘリックス等の仕組みが組み込まれている
システム System	09	組織の実効性と能力	スマート技術やソリューションの仕様策定、選定、実証・実装、評価を行うことができる組織が推進主体の内部に備わっている、もしくはそれらを補完できる外部組織がある
	10	エコシステム構築	スマートシティを推進する上で効果的、機能的、自律的なエコシステムが形成されている
	11	トラスト醸成	スマートシティ形成、都市マネジメントにおいて行政、企業、市民等間のトラスト（信頼）が構築されている
	12	法令・制度設定	開発に必要な法的・行政的なプロセス等に関する規範が定められており、推進に関するインセンティブ制度や円滑化のためのファンクティが整備されている
技術 Technology	13	市民参加・共創	市民参加の仕組みが整備されている（スマートシティにおいて市民共創のシステムが検討or導入されている）
	14	領域横断	スマートシティと脱炭素・デジタル化・産業の発展・環境配慮・防災・市民生活の質向上が連携されている
	15	都市基盤・プラットフォーム	スマートシティのソリューション&データ連携インフラを形成するプラットフォーム（都市OS）が全体あるいは部分的に構築されている（検討段階含む）
	16	データの利活用	都市オープンデータが整備され、個人情報保護された形でスマートシティ高度化にビッグデータとして利用（検討）されている
運用 Operation	17	デジタルセキュリティ	IT基盤インフラのセキュリティ戦略が検討され対策が施されている
	18	社会システムデザインと実装	スマートシティ構築において、社会システムデザインの体系が導入されており、スマート技術・ソリューションの選定、導入が最適化されている
	19	推進体制の柔軟性	スマートシティを推進する上で、政治状況・社会環境・技術動向の変化・多様な市民のニーズに柔軟に対応できる仕組みが組込まれている
	20	連携・パートナーシップの強化	近隣地域、他国のSCとの都市間パートナーシップにより最新知見の共有化が図られている
	21	持続可能性の担保	スマートシティや開発事業に中長期的なコミットメントができる仕組みが構築されている

スマートシティの取組みを持続可能なものとするために

APPROACH for your SMART CITY